

株式会社ジェイコムイースト 世田谷局 調布局

2015 年度 放送番組審議会 議事録

2015 年度 株式会社ジェイコムイースト 世田谷局、調布局 合同放送番組審議会は、
2016 年 2 月 18 日(木)調布クレストンホテルで開催された。

＜放送番組審議会委員＞ (五十音順)

ご出席

小澤 弘美 様	吉良 雅彦 様
齊藤 亀三 様	佐藤 龍 様 ※城戸委員の代理
杉田 剛 様 ※浅見委員の代理	張堂 完俊 様

事業者側から J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】(齊藤会長による進行)

◆「デイリーニュース」について

委員 取材ネタはどのようにセレクトしているのか？

事業者 各行政の広報、地元の皆様、地域プロデューサー(地域ステークホルダーとの関係構築を担う J:COM 社員)等から収集した情報をセレクトし、毎週、週頭に一週間のラインアップを決めている。もちろん、突発的な事件・事故等が起きた時には柔軟に対応している。

委員 世田谷区もニュースで色々取り上げてもらっているが、事例紹介に出てきた区長記者会見に加え、様々な話題を取材して欲しい。

事業者 これまで番組の撮影・編集は三鷹事務所で行っていたが、今年の 1 月から世田谷局の局舎を借りて、撮影機材と編集機材、および取材車を常設することになった。これにより、即座な対応が可能になったので、これまで以上に地域の情報を提供できると考えている。

委員 地域の話題が毎日放送されること、および自らが取材され番組に出るかもしれないという地域住民の期待感もあることから、良い取り組みだと思う。

今後は小中高校生を巻き込んだ内容にすると、それぞれの世代や様々なコミュニティへ口コミで広がり、番組のPR効果が図れると思う。

委員 実際のところ、この番組を見たいという思いを持って、J:COM チャンネルを見るところまでいかない。番組表を調べればよいのだろうが、良い番組がいつ放送されているのか分からない。過去の番組を含めて、是非見てもらいたい番組については、番組宣伝を行うべきだ。また、色々な地域イベントを番組化していると思うが、これは宝物になるというような番組を作って欲しい。

事業者 プロモーション不足はいなめないところである。スタートしたばかりの「デイリーニュース」では、防災、各種注意喚起、街ネタなどに取り組んでいる。具体的には、“隣の家の庭にめずらしい花が咲いた”というネタは、地上波民放では取り上げないと思うが、そのようなニュースは地域に根ざした我々ケーブルテレビが取り上げるべきだと考え、非常に力を入れているところである。

ご指摘頂いた番組宣伝という点においては、このような「デイリーニュース」の取り組みをもっとアピールすることが課題であると認識している。今後、これまでの番組宣伝に加え、サインージ、ネット配信、J:COM オンデマンド等も活用してプロモーションを行っていきたい。

また、宝物になるような番組に関しては、これぞ我が街というドキュメンタリー映像を制作したり、「デイリーニュース」の取材を続けたりすることで、10年後、20年後にメモリアルな映像を保有しているのは J:COM だけと言われるような地域の映像記録者としての使命を果たしていきたいと考えている。

委員 「デイリーニュース」の放送時刻 17:00～17:20 は早過ぎるのではないかと。現在、19:00 以降の番組を見ると、NHK はニュースであるが、地上波民放はお笑い番組が多いように思える。この時間帯にニュースの需要はあると思うので、「デイリーニュース」の放送時刻を 20:00 からにするなど、検討してみてはどうか。併せて、プロモーションを強化すれば、番組の認知度が上がり、需要を喚起できると思う。

委員 地元の祭りを紹介するなど、「デイリーニュース」は非常に良い番組だ。また、話題が変わるが、J:COM テレビ（10ch：地域から全国へ）と J:COM チャンネル（11ch：地域密着）の住み分けをしたのは良いことだ。特に、ケーブルテレビはニッチなところをもっと突いていくべきと主張してきたが、今回、J:COM チャンネルがそちらへ向かうということで凄く良いことだと思っている。加えて、出演者はタレントだけでなく、社員も起用すべきと申し上げてきたことも、今年度から実現させており、良い傾向だと感じている。

内容については、誰が見ても楽しいというものでなく、その地域の人が見て楽しいというもので良いと思う。例えば、食べ歩き番組だと地上波民放では下北沢、明大前、烏山などがフィーチャーされるが、ケーブルテレビでは千歳船橋、祖師ヶ谷大蔵、世田谷代田、上北沢といった地域を紹介して欲しい。

また、提案が2つある。一つ目は、J:COMには緊急地震速報のサービスがあるが、これに加えて、定点カメラを活用した「川の氾濫情報」も提供して欲しい。インターネットで同様のサービスはあるが、年配の方でインターネットを上手く使いこなせない方もいるので、一定の水位を超えると知らせてくれるサービスを検討してもらいたい。

二つ目は、現在、J:COM テレビ（10ch）のデータ放送から AM ラジオを聴取できるが、FM も聞けるようにして欲しい。

最後に、世田谷区には J:COM とイッツコム の2つのケーブルテレビが、エリアを分けてサービス提供している。J:COM エリアの視聴者は、世田谷区の南エリアの情報も知りたいはずなので、南エリアも紹介して欲しい。

事業者 現在、イッツコムと、世田谷区の地域情報を共同で取材しようということで話し合いをしている。イッツコム側の制作体制、スケジュール等があるのですが一緒にできないが、区長の新年挨拶、その他イベント等は既に共同取材を行っている。

委員 テレビを見る時、一番気になるのは天気予報と地震情報である。世田谷区、調布市、狛江市の各エリアを更に細分化し、標高や地形等を踏まえたより詳細な天気予報や地震情報を提供して欲しい。

委員 先程、川の氾濫情報が話題になったが、川の上流で雨が降り、ダムに一定以上の水が溜まると放流されることから、その時、下流で雨が降っていなくても川の水位が上昇することがある。これらの情報も収集し、エリア毎にきめ細かな情報提供をしてもらいたい。

◆レギュラー番組について 「テレビ広報 ちょうふ」

委員 今年の4月から障害者差別解消法が施行される。同法にある“合理的な配慮をすべき”との規定は、民間事業者にとって努力義務とされている。先日、障害者の方から同番組内でテロップ表示をして欲しいとの要望があった。同法の施行に向けて何か新しい取り組みを考えているか？

事業者 現状、具体的な取り組みにまで至っていない。但し、技術的な面で、字幕放送の検討を重ねているところである。これについては、作業量とコストを考えなければ

ならない。一方、他の行政番組では手話を入れているものもあるが、視聴者の中には、手話があると見辛いので外して欲しいという方もいる。そこで、手話有り版と手話無し版の両方を制作する場合もある。我々としては、視聴者のニーズに合わせて考えていく必要があるが、同法の施行に向けて何か施策を講じるということにはなっていない。

委員 障害者の中には手話ができない方もいるので、字幕放送を検討してもらいたい。

「ジモトピ」

委員 「デイリーニュース」で狛江市の情報が放送される場合、放送日時を教えてもらっているが、「ジモトピ」については放送後に知られるケースがある。番組告知はどのくらい前から行っているのか？また、その方法を教えて欲しい。

事業者 「デイリーニュース」において何を取材するかは、毎週、週頭に一週間分を決めている。但し、突発的なニュース、具体的にはひったくり、振り込め詐欺、火災など事件・事故も扱うようになってきているので、これらの事案が起きた場合には、予定していたニュースの放送を遅らせなければならなくなる。従って、番組告知については、取材に行った際に取材対象者等へ放送予定日を伝えるが、併せて放送当日に発生する事件・事故により放送日が遅れることもあると話している。以上のことから、余裕をもって事前告知ができない状況にある。

先程も申し上げたようにプロモーション不足が課題であると認識している。現在使っているツイッターと同様に、自社メディア以外の媒体を活用した番組告知、さらに、EPG（電子番組ガイド）の充実、各種団体との連絡網構築も考えていきたい。

事業者 「デイリーニュース」以外の番組については、情報提供頂いた方へFAX等を使って放送日時をお伝えできるようにしていきたい。

委員 一般市民から通信委員（情報受発信の協力者）を募ってはどうか。そして、その通信委員のネットワークを広げ、地域情報を収集し、かつ番組情報を発信することができれば良いだろう。

委員 狭い地域の中でも食べ物や習慣などの違いがあるだろうから、それらの特性を探し出して紹介することが地域密着の番組作りにつながると思う。

事業者 そのご意見は、まさに「東京生テレビ」が目指しているところである。東京の我が街自慢をできるような、東京に住む人が地元にもいいところがあるよねと言えるような番組を作ろうと取り組んでいる。

委員 灯台下暗しで地域住民は意外に地元の良さを分かっていない場合がある。そこで、来街者からその地域を訪れた理由や当該地域の魅力を聞くのも手かもしれない。

委員 先程、「デイリーニュース」の中で事件・事故も取り上げるようになったと言っていたが、そうであるなら地上波が報道しないようなニュースを扱うべきだろう。例えば、地域に変質者が現れた場合、迅速に放送して、その後も継続取材し、結果、変質者は捕まったのかというところまで放送して欲しい。また、地元で困っている話題、例えば、通学時間帯のスクールゾーンへの車両進入、騒音やごみ屋敷などの問題を取り上げて欲しい。

「地域スポーツ応援番組」

委員 2020 年のオリンピック・パラリンピックに向けて地域が関わる活動が出てきたら取材し、放送して欲しい。

事業者 我々も 2020 年に向けて、色々な形でスポーツに関わっていく考えである。オリンピック・パラリンピックはビッグイベントなので、J:COM チャンネルで地域へ、そして J:COM テレビで全国へ情報発信していきたい。
なお、今年開催されるリオデジャネイロ五輪については、ケーブルテレビで初めて J:COM も放送することになっている。

◆特別番組について

委員 今後の特別番組にはどのようなものがあるか？

事業者 世田谷区公会堂にて 8 月 11 日にプロの演奏家が子供たちへ楽器の指導をし、その後演奏会を行うというクラシックコンサートを NHK と共同開催し、番組化する。

事業者 3 月 14 日に開催されるニューシネマパラダイスのブルーレイ発売記念イベントのトークショーを収録し、3 月下旬に放送する予定である。

事業者 来年度は、調布の花火大会、およびイツコム制作で J:COM でも放送する多摩川の花火大会がある。

事業者 今年初のものとしては、公立高校入試の解答速報特番がある。

委員 番組には、“楽しい”と“実がある”の両方が必要であろう。

委員 花火大会特番について提案がある。過去に、3 か所の花火大会を同時に見た経験がある。番組の中で、こんな意外な場所から花火を見ることができるという穴場情報を紹介してはどうか。

事業者 花火大会は、毎年、8 月の第 1 土曜開催が多い。同日、視聴者の皆様には、J:COM チャンネルで地元の花火大会を、一方 J:COM テレビでは他エリアの花火大会を楽しんで頂いている。ご提案頂いた穴場情報は見どころ紹介にもつながるので検討したい。

委員 花火大会特番において、視聴者が撮影した花火映像を投稿してもらい、番組内で撮影場所も含めて紹介してはどうか。そうすれば視聴者参加型の番組にもなる。

委員 本日の審議を通して、番組の放送に際して肝心なことは、番組内容に加え、番組宣伝であることが分かった。それらについて、さらに検討を深めて欲しい。実際に視聴者に見てもらい、“楽しい”と“実がある”を感じてもらえれば、番組として定着していくだろう。

以上